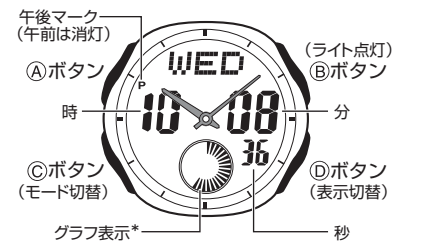
Operation Guide 3319

CASIO

操作のしくみと表示の見方 （表示例では、アナログ部（針）を省略する場合があります。）

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻・カレンダーモード



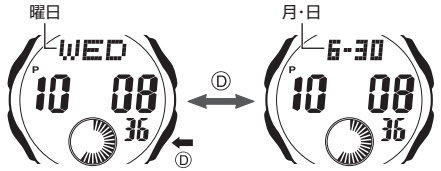
★曜日の見方

SUN：日　MON：月　TUE：火　WED：水
THU：木　FRI：金　SAT：土

* グラフ表示は現在時刻の「秒」に連動して、2秒ごとに点灯／消灯を繰り返します。

★表示切替について

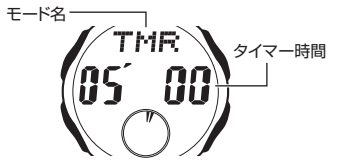
Ⓓボタンを押すごとに「曜日」と「月·日」が切り替わります。



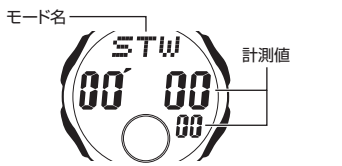
ワールドタイムモード



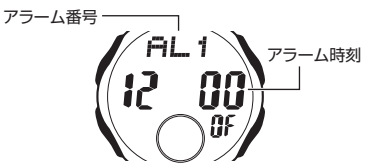
タイマーモード



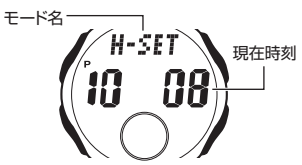
ストップウオッチモード



アラームモード



ハンドセットモード



ライト点灯について

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して点灯させる
～手動点灯～

セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも

Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

※点灯時間は約1.5秒間と約3秒間のいずれかを選ぶことができます（「■ライト点灯時間の切り替え」参照）。

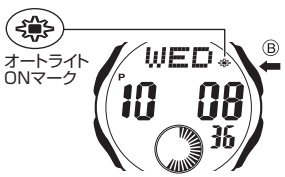
※ オートライトOFFのときもⒷボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■時計を傾けて点灯させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくてもライトが点灯する便利な機能です。
暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約1.5秒間または約3秒間点灯します。

準備：セット中（表示点滅）以外のどのモードのときでも、Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けて、オートライトON（オートライトONマーク点灯）にします。



※オートライトONのとき、Ⓑ ボタンを約2秒間押し続けるとオートライトOFF（オートライトONマーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中に操作確認音の鳴るボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ライト点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、"☀"を点灯させてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的に"☀"が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓑボタンを約2秒間押し続けて"☀"を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間または約3秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。
- ハンドセットモードで針を合わせているときは、オートライトは点灯しません。

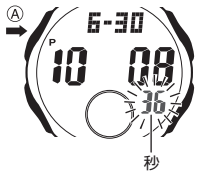
■ ライト点灯時間の切り替え

1. セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき

Ⓐボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。

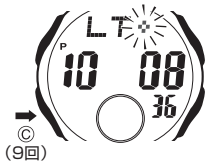


2. ライト点灯時間切替にする

Ⓒボタンを9回押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が移動します。

＊ 点滅箇所の移動については「■デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方」参照。

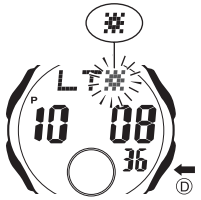


3. 点灯時間を選ぶ

Ⓓボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに約1.5秒間と約3秒間が切り替わります。

※ ⁘ マーク＝約 1.5 秒間
※ ※ マーク＝約３秒間



4. セットを終わる

Ⓐボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界29タイムゾーン（27都市）の時刻および世界標準時（GMT）の時刻を簡単に知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※時刻・カレンダーモードで基本時刻（ホームタイム）および都市コードをセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。

※基本時刻を24時間制にしているときは、ワールドタイムも自動的に 24 時間制で表示されます。

■ 都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに「都市コード」が進み、その都市の時刻を表示します。

※ 押し続けると早送りします。



■ サマータイム（DST）について

サマータイムとは DST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■ サマータイムの設定

(1) ワールドタイムモードのとき、Ⓓボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

(2) **Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します**

➡DST ON マークが点灯して、サマータイム設定＊になります。

＊サマータイム設定時の表示は、通常の時刻より1時間早まります。



※DST ONマークが点灯しているときに、Ⓐ ボタンを約2秒間押すと通常の時刻に戻ります。

※各都市ごとにサマータイムの設定ができます。

※ "GMT" 表示のときは、サマータイム設定はできません。

■ 都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
― ― ―		−11	パゴパゴ	CAI JRS	カイロ エルサレム	+2	アテネ、ヘルシンキ、イスタンブール
HNL	ホノルル	−10	パペーテ				
ANC	アンカレジ	−9	ノーム	JED	ジェッダ	+3	クウェート、モスクワ、ナイロビ、リヤド
LAX	ロサンゼルス	−8	サンフランシスコ、ラスベガス、シアトル/タコマ	THR	テヘラン	+3.5	
DEN	デンバー	−7	エルパソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4	アブダビ、マスカット
CHI	シカゴ	−6	ヒューストン、メキシコシティ、ダラス／フォートワース	KBL	カブール	+4.5	
				KHI	カラチ	+5	マーレ
				DEL	デリー	+5.5	
NYC	ニューヨーク	−5	モントリオール、リマ、マイアミ、ボストン	DAC	ダッカ	+6	コロンボ
				RGN	ヤンゴン	+6.5	
CCS	カラカス	−4	サンティアゴ、ラパス	BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
RIO	リオデジャネイロ	−3	サンパウロ、ブエノスアイレス	HKG	ホンコン（香港）	+8	シンガポール、クアラルンプール、北京、台北、マニラ
― ― ―		−2					
― ― ―		−1	アゾレス諸島	TYO	東京	+9	ソウル、平壌
GMT		±0	＜グリニッジ標準時＞	ADL	アデレード	+9.5	
LON	ロンドン	±0	ダブリン、リスボン	SYD	シドニー	+10	グアム、ラバウル
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、フランクフルト	NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は2003年12月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマー時間は分単位で60分までセットすることができ、1秒単位で減算計測を行ないます。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。
*タイマー方法の選び方については「■タイマーのセット」参照。

●リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー(自動繰り返し計測)

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行ないます。
※繰り返し計測は合計８回行なうと、自動的に計測がストップします。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。
*予告音のON／OFF設定については「■タイマーのセット」参照。

●予告音 ON に設定したときは

残り時間5分10秒～5分のとき	1秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間4分～1分のとき	1分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間30秒	電子音が1秒鳴ります。
残り時間10秒～0秒（タイムアップ）	1秒ごとに電子音が鳴ります。

※セットした時間が５分以下のときは途中から鳴ります。

●予告音 OFF に設定したときは

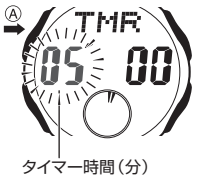
セットした時間を経過すると１０秒間の電子音でタイムアップを知らせます。
※電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

(1)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

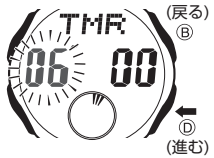
➡タイマー時間の「分」が点滅します。



(2)タイマー時間をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに１つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。
※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。
※タイマー時間は１分（01'00）～ 60 分（60'00）までセットできます。



(3)タイマー方法を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにリピートタイマー“ ⟶ ”とオートリピートタイマー“ ⟳ ”が切り替わります。



(4)予告音の ON ／ OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡ⒹボタンをすごとにON／OFFが切り替わります。
※ ♪ ON ＝予告音 ON
♪ OF ＝予告音 OFF



(5)セットを終わる

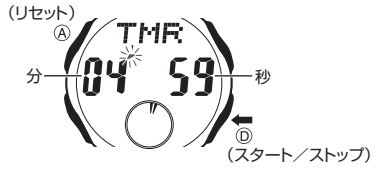
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。
※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。
※ 計測は 1 秒単位で行ないます。
※ グラフ表示は残り時間の「分」に連動して、2分ごとに消灯します。



★計測ストップ後 Ⓐ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります（リセット）。
★ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度 Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

ストップウオッチの使い方

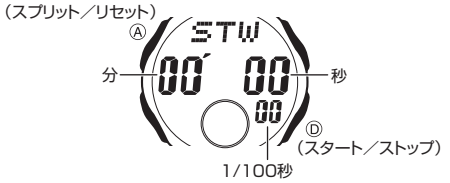
「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓボタンをすごとに、計測がスタート／ストップします。
※グラフ表示は計測値の「秒」に連動して、2秒ごとに点灯／消灯を繰り返します。



★計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（スプリットマーク“SPL”点灯）。
※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
★計測終了後 Ⓐ ボタンを押すと、計測値が０に戻ります（リセット）。

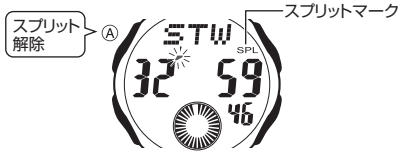
●通常計測

Ⓓ スタート → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット

＜積算計測＞
ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずにⒹボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓓ スタート → Ⓐ スプリット → Ⓐ スプリット解除 → Ⓓ ストップ → Ⓐ リセット



＜スプリット表示中＞

●１・２着同時計測

Ⓓ スタート → Ⓐ 1着ゴール（1着タイム表示） → Ⓓ 2着ゴール → Ⓐ 2着タイム表示 → Ⓐ リセット

アラーム・時報の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻になると 20 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

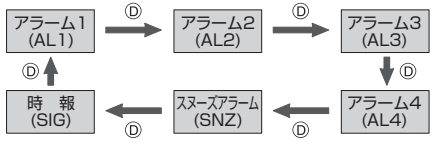
■ アラーム時刻のセット

(1)アラームを選ぶ

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。





(2)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押します

➡「時」が点滅します。

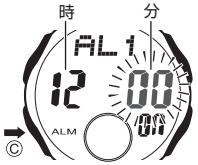
※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームONになります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



(3)セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



(4)点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。



手順(3)～(4)の操作を繰り返して、アラーム時刻をセットします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または 24 時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に 24 時間制で表示されます。

(5)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

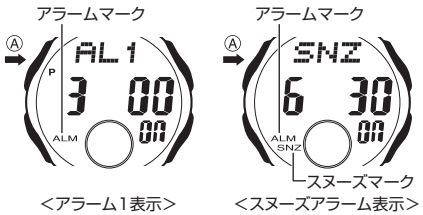
■ アラームのON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したいアラームを選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、アラームの ON ／ OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときがONとなり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。



<アラーム1表示>　<スヌーズアラーム表示>

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

※スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。

※スヌーズアラーム機能中のときに以下の操作を行ないますと、スヌーズアラーム機能が中断されます。
- ●スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
- ●スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
- ●時刻・カレンダーモードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードで Ⓓ ボタンを押し続けると、押している間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

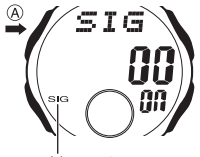
■ 時報の ON ／ OFF 設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐ ボタンを押すごとに、時報の ON ／ OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときがONとなり、時報が鳴ります。



<時報表示>

時刻・カレンダーの合わせ方

以下の操作は時刻・カレンダーモードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

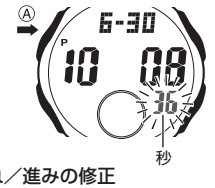
※デジタル部の時刻を修正したときは、必ずアナログ部も修正してください。

■ デジタル部時刻・カレンダーの合わせ方（ホームタイム都市の設定）

(1)セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓐ ボタンを約2秒間押します

➡「秒」が点滅します。



(2)秒合わせ…30 秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて Ⓓ ボタンを押します

➡「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります（時報は「時報サービス117番」が便利です）。



(3)サマータイム（DST）の ON ／ OFF を選ぶ

Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとにON ／OFF が切り替わります。



※ OF ＝サマータイム OFF（通常時間）
On ＝サマータイム ON（夏時間）

* サマータイム（DST）については「■サマータイム（DST）について」参照。

(4)ホームタイム都市を選ぶ

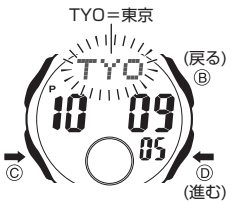
Ⓒ ボタンを押してから、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに「都市コード」が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

* 「■都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

※ ホームタイム都市を設定してから、時刻セットを行なってください。

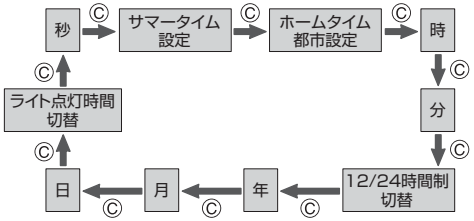


(5)「時刻・カレンダー」合わせ

a. Ⓒ ボタンを押します

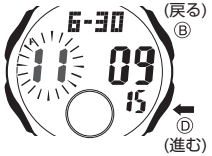


➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



＊ライト点灯時間の切り替えについては「■ライト点灯時間の切り替え」参照。

b. Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



➡ Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

手順a.～b.の操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「12/24時間制切替」のときは、Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24時間制表示“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）、または24時間制にご注意ください。

※「年」は2000年～2039年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(6)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アナログ部（針）の合わせ方

アナログ部とデジタル部の時刻が合っていないときは、以下の操作で合わせてください。

準備：「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、ハンドセットモードにします。

(1)セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押します



➡ 現在時刻が点滅して、セット状態になります。

(2)アナログ部を合わせる

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに時計回りに1/3分（20秒）ずつ進みますので、デジタル部の「時・分」丁度にアナログ針を合わせます。

※ 押し続けると早く進みます（針は逆方向には進みません）。

＜針の自動早送り＞

- Ⓓボタンを押し続けて早送り中にⒷボタンを押すと、ボタンから手を離しても針が進み続けます。
- 自動早送りは時針が一回りするか、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 針の早送り中にアラームなどが鳴り出すと針が停止します。

(3)セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡ 点滅が止まり、分針はそのときの「秒」に合わせて自動的に修正されます。

※ 点滅表示のまま2～3分間すると、自動的に点滅が止まります。

※ 操作のタイミングにより、針が少し遅れることがあります。このようなときは、もう一度セット状態にしてから針を1ステップか2ステップ進めてください。